

セーフティ通信

H30. 8. 22
 (公社)北海道トラック協会
 TEL (011) 511-9784
 FAX (011) 521-5810

～一時停止は2度停止！車間距離は4秒間！～

ホームページ <http://www.hta.or.jp/>

過積載の根絶と 運転中のスマホ等操作絶対禁止！

1 過積載の危険性

- ① 制動距離が延びる(JAF4トン車でのテスト結果)
 時速50km/h空荷～17.5m、時速80km/h空荷～42.7m
 時速50km/h4t積～18.2m、時速80km/h4t積～43.8m
 時速50km/h10t積～26.1m、時速80km/h10t積～99.0m(過積載)
- ② 衝突時の衝撃力が増す
 衝突時の衝撃力は、重量と速度に比例して大きくなるため、過積載状態で事故を起こした場合、**定量積載時よりも被害が大きくなる傾向がある。**
- ③ 「フェード現象」が起きやすくなる
 自然加速によりフットブレーキの使用頻度が上がり、ブレーキライニングやブレーキパッドが**過熱して、ブレーキの効きが極端に悪くなる。**
- ④ バランスを崩しやすくなる
 急ハンドルを切ったときや、カーブを通行するときに、**大きな遠心力が働き、横転や荷崩れが起きやすくなる。**
- ⑤ 「ジャックナイフ現象」が起きやすくなる
 トレーラの場合、下り坂などで急ブレーキを踏むと、**重いトレーラ部分にトラクタ部分が押し出され、トラクタとトレーラの連結点で折れ曲がる「ジャックナイフ現象」が起きやすくなる。**

積載重量をオーバーした状態で運行すると、**事故につながる様々な危険をもたらします。**また、荷物の積載方法を誤ると、運行中に**荷崩れ**を起こしたり、**車体のバランスを崩して事故を起こす**などの危険もあり、**積載量を守るとともに、正しい積載のポイントをしっかりと習得して確実に実践するのがプロドライバーです。**

2 運転中に、スマホを操作しているの重大事故

- ① 2017年11月、滋賀県多賀町の「名神高速道路」下り線で、**スマホを操作しながら運転していた大型トラックが乗用車などに追突し、あわせて5台が絡む多重事故が発生し、2台の乗用車が炎上し1人が死亡し、2人が負傷した。**
- ② 2017年8月、岐阜県多治見市の「中央自動車道」で、**スマホを操作しながらトラックを運転し、工事現場に突っ込み、作業員1人が死亡し、8人が負傷した。**
- ③ 2017年8月、静岡県島田市大草の新東名高速道路の「大草トンネル」内で、**スマホを操作しながら運転していた大型トラックが大型バイクに追突したあと、トラックや乗用車など6台が絡む多重事故となり、大型バイクの男性が死亡、7人が負傷した。**
- ④ 2017年5月、愛知県一宮市の「名神高速道路」上り線で、**スマホを操作しながら運転していたトラックが軽乗用車に追突するなど5台が絡む多重事故となり、軽乗用車に乗っていた2人が死亡、4人が負傷した。**
- ⑤ 2016年10月、愛知県一宮市で**スマホの「ポケモンGO」の操作をしながらトラックを運転し、小学4年生の男児をはねて死亡させた。**

トラックには**死角**など危険が多く、**運転中に携帯電話やスマホの操作は確実に前方を見ておらず、危険を見落とします。**

トラックは、**大きな凶器**であることを認識しましょう。
 運転中に**運転席・助手席のドア窓にカーテン**をする、**携帯電話やスマホを操作することは、理由のいかんを問わずやめましょう。**

運転中の「あ・い・う・え・お」撲滅！

～あせり・いかり・うっかり・エゴ・おごり～